



東明

□令和2年5月1日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根本169番地

「東中丸出航 全校生徒282名 令和の旅立ち」 校長 木村守人

令和2年度入学式の校長式辞（全文）より

光り輝く日本海と八郎湖、緑豊かな寒風山の麓、ここ船越根木の学び舎にも桜のつぼみがほころび始め、春の装いを迎えています。

本日、令和2年度男鹿東中学校の入学式に当たり、特別の事情によりご来賓の皆様のご参列は叶いませんでしたが、多数の保護者の皆様のご臨席を賜りました。この上ない喜びであり衷心より感謝申し上げます。

さて、90名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員39名、在校生192名が、希望に輝く皆さんの入学を心から歓迎いたします。

皆さんが本校の制服に身を包み、堂々と入場する姿、元気よく返事をする姿に、中学校生活への意気込みが感じられ、とても頼もしく思いました。どうか一日も早く学校生活に慣れて、脇本第一小学校・船越小学校・払戸小学校・美里小学校などで学んだ力を思う存分発揮してほしいと思います。

本校は、昭和47年に脇本中学校と船越中学校が一緒になり、男鹿東部地域の中心校として歩み始めました。平成20年には払戸中学校も仲間入りして、今年で創立49年目を迎えました。

本校の最大の特色は、「生徒と教職員」、「学校と地域と地域」が一体となり、固い絆で結ばれていることです。男鹿市内中学校では最大の人数を誇り、中学生全体の約五分の三を占めています。この力強さを十分に生かしながら、生徒相互が仲良く力を合わせて学び合い、励まし合い、文武両道に確かな実績を積み上げてきたことがその証です。

また、各地域の祭典や伝統行事を伝承する延べ百名を越える有志による自発的なボランティア活動とともに、全校生徒282名の手でふるさと男鹿に貢献するボランティア活動が本校の自慢です。昨年度は、新たにナマハゲのケデ作りにも挑戦しています。

新入生の皆さん、本校のこれまでの50年近い確かな歩みを受け継ぐとともに、よりよい学校づくりのため、心優しい先輩たちと共に手を取り合って前進していきましょう。

ここで皆さんが、楽しく充実した中学校生活を過ごすために、本校の校訓である「英志つらぬけ」の教を贈ります。

「英志をつらぬく」とは簡単に言うと、立派な志をもって学び続けることです。英志は大きく、三つ抱くことを求めています。

一つ目は「知性を磨くこと」です。学ぶことは本来とても楽しいものです。友達を尊重しながら、課題解決のために共に学び合い、認め合って、学ぶ喜びと学べる幸せを大いに実感してほしいと思います。

二つ目は「心を耕すこと」です。様々な集団の中で友達と共に汗を流し、自分自身の役割や責任を果たすこ

とによって、心が耕されていきます。楽しく有意義な学校行事を体験しながら、込み上げる達成感を味わってほしいと思います。

三つ目は「体を鍛えること」です。中学生時代に鍛えた体こそが人生の礎となります。学校行事や部活動、地域の伝統行事などで存分に体を動かし、燃えたる体力を感じ取ってほしいと思います。

中学校の3年間は、人生において「心と体、そして学びに向かう力」が最も伸びる時期です。皆さん一人一人が無敵の可能性を秘めています。どうか、自分自身の可能性を信じて努力することを誓ってください。本校生徒の合言葉は、「夢に向かって笑顔で挑戦」です。いつも高い志をもって学び、明るく、たくましく育ててほしいと思います。

保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠にありがとうございます。大切に育ててこられたお子様を、本日より39名の教職員全員で責任をもってお預かりいたします。

学校は本来「友達と仲良く学びたい」「分からないことが分かるようになりたい」「出来ないことが出来るようになりたい」と願う子どもたちのために存在します。そして、子どもたちの心身の健やかな成長を願って止まない保護者や地域の方々がいいます。

私たちは、改めてこの原点に立ち返り、「熱意と誠意と創意」をもって、子どもたちに寄り添って指導と支援に当たってまいります。どうか本校の全ての子どもたちの幸せのために、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりにりましたが、本日入学した新入生90名を含め、全校生徒282名一人一人が、一歩ずつ着実に歩を進め、高い志をもって夢を叶え、地域の宝として認められるとともに、男鹿東中学校がふるさと男鹿の発展に貢献し、より一層愛される学校となることをお約束して式辞といたします。

新型コロナウイルスの感染防止へ向けて

新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中で、保護者の皆様のご理解とご協力には心より感謝申し上げます。市販のマスクを入手することが困難な状況ではありますが、手作りマスクの準備や登校前の検温、手洗いとうがいの励行などに多大なご協力を賜りました。おかげさまで、本校生徒は笑顔で登校し、学習活動や部活動などに専念することができています。一部の都道府県では教育活動が難しい状況であることを考えると、学校で学べる幸せを皆が実感しているところです。



【緊張の面持ちの新入生】